

全国学校ギター合奏コンクール 2023 審査講評

Web-1 番 団体名:札幌光星高等学校クラシックギター部

自由曲 曲名: ギター三重奏または合奏のための光の街/佐藤弘和<指揮: 佐々木亮>

審査員名	自由曲
有馬	マナー○ アナリーゼ○ 技術○ 音色○ 指揮○。オンラインで聞いているのでバランスがいまいちよく聞き取れなく、音のブレが気になってましたが構成力が少々半端な感じがします。同じようなトーンなのでアゴーキク、強弱、テンポの揺れ等、皆均一でモノトーンのように思えました。もう少し丁寧に演奏されると分かりやすいのですが…。明暗と色彩が見えると良いのですが…。それが聞き取れないのが残念。でもよく頑張ってトラブルを乗り越えてきましたね。
新堀	マナー、アクション欲しい。アナリーゼ△平坦。技術△、音色△せまい。指揮、左手死んでます。各パートを生かす音色が欲しい。低音の美しい土台作りが大切です。ギタロン2本欲しい(各パートが生きます)
竹内	最後を品よく締めくくったのが良いです。バスの音だけを強調するあたり、音楽の土台としての認識がしっかりしていて良いと思います。練習番号DやFもほぼ良いですが、和声リズム(どういうタイミングで和声が変化するか)に一層敏感になり、この変化がウキウキした表現になることで音楽が生きてくるでしょう(作曲家もここに delightfully を置いているのでその意図はありますね)。練習番号Gのレ#音は転調としての意識が伝わってくるとより良いです。練習番号Lは伴奏音がメロディー音を超えるところがあり、メロディー音が大切にされているとより良かったです。
猿谷	曲の場面の变化をもっと表したい
堀	ハーモニクスの音量がちょっと聴こえづらい。16分音符がちょっと前に流れがち。曲を通して心臓部とも言えるエレメントなのできっちり組み立てたい。clapは全体の中のバランス・効果を考えると適した音量、音質が決まってくるはず。ダイアトニックコード以外の工夫されている進行/大きな場面変化/など音色のバリエーション欲しい。メロディーの中の細かい動きがもやもやしがち。中間部に呼吸感欲しい。
柴田	(画像からはあまりにも欲しい情報が少なすぎる。音が割れているため中音域が…)指揮、良い。プロジェクターの音の方が聞き取りやすいが、やはり映像主体のものは音が二の次になっている。若者らしいはつらつとした演奏だ。もう少し良い録音ならもっといいところが聞けたように思う。しかしキラキラしたものが演奏から伺える。
中島	マナー○技術△指揮△指揮の振り方が曲想が変わってもあまり変化がない。きっかけのポイントのパートに左手で鋭く合図を送れるとより良い。おおらかなのは気持ちが良い。残響の長い礼拝堂(?)での録音を考慮して消音に気をつけるともっとクリアな演奏になるでしょう。私も何回も弾いた曲です。とても良い曲ですね。手拍子はステージで弾く時はパフォーマンスとしてもっと聴き手にわかるように派手に手を上げてやってみてください。Codaはもっと secco な乾いた音色の方が良いかも。試してみてください。

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール 2023 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-16-14

Tel.03-3530-5341